

2020年12月6日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第35号(通算3212号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

かみさま つく 神様が創られたすべての命を
たいせつ きょうかい 大切にす教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書 3:5-6)



待降節 第2主日礼拝

《**新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。インター
ネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂けます**》

ぜん そ う もく と う
前 奏 黙 禱

まね ことば しよ
招きの詞 イザヤ書

しょう せつ
59章 16, 20節

さん び か ばん しゆ ま のぞ
賛美歌 242番「主を待ち望むアドヴェント」(1-2節) (©JASRAC)

てんとう
クランツ点灯のことば

てんとうしや
点灯者

せい し しょ ふくいんしよ
聖 書 マタイによる福音書

しょう せつ
13章 53-58節

いの
お 祈 り

さん び か ばん み は ひと
賛美歌 236番「見張り人よ」(©JASRAC)

メッセージ 「どうしてこんな所に生まれたのか」 牛田 匡 牧師

さん び か ばん あす
賛美歌 244番「キリストは明日おいでになる」(©JASRAC)

ユーカリスト
聖 餐

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

きょうどう
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さん び か ばん ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゆ いの
主の祈り

さ げ も の
献 げ 物 (*)

は け ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゆ く ふく
祝 福

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

こう そう ばん きやうだんさんびかいいんかい
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほう こ げ
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かつ ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 ^{ことば} イザヤ書 59章 16, 20節

16 主は人のいないのを見
執^とり成^なす人がいないことに驚かれた。
そこで、主はその腕で自らに勝利をもたらし
その正義でご自身を支えた。

20 贖^{あがな}い主がシオンに来る。
ヤコブのうちで
背^{そむ}きの罪から立ち帰る者のもとに来る
——主の仰^{おお}せ。

クランツ点灯のことば

神様、今私たちは2本目のろうそくを灯^{とも}して礼拝をします。神様が長い間、一人一人を大切にし、守り続けて下さったことを、聖書は証^{あかし}しています。神様の約束は、必ず成^なし遂^とげられると信じます。どうぞ、全ての人々の救い主イエス様を、私たちの所に遣わして下さい。



聖書 マタイによる福音書 13章 53-58節

53 イエスはこれらのたとえを語り終えると、そこを去り、54 故郷にお帰りになった。会堂で教えておられると、人々は驚いて言った。「この人は、このような知恵と力をどこから得たのだろうか。55 この人は大工の息子ではないか。母親はマリアと言い、兄弟はヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではないか。56 姉妹たちも皆、私たちのところにいるではないか。この人はこれらすべてのことを、一体どこから得たのだろうか。」57 こうして、人々はイエスにつまずいた。イエスは、「預言者が敬^{うやま}われないのは、その故郷、家族の間だけである」と言い、58 人々の不信仰のゆえに、そこではあまり奇跡をなさらなかった。

《先週のメッセージより》11月29日 待降節第1主日礼拝

メッセージ「闇は深まり、朝は近づく」より

牛田匡牧師

聖書：ローマの信徒への手紙 13章 8-14節

今回の箇所は、パウロによる「最も重要な掟」とも呼べるような箇所でした。パウロは言います。全ての掟、戒めは「『隣人を自分のように愛しなさい』』という言葉に要約されます。愛は隣人に悪を行いません。だから、愛は律法を全うするものです。「最も重要な掟」と言うと、マタイ・マルコ・ルカの3つの共観福音書には、イエス様の言葉として「あなたの神である主を愛しなさい」と「隣人を自分のように愛しなさい」という2つの掟が、挙げられていますが、パウロの場合は後者だけです。しかし、『ヨハネによる福音書』では、イエス様の言葉として「互いに愛し合いなさい。これが私の命令である」(15:17)とだけ述べられています。全ての人々が神様の中に生かされています。私たちは人を介して神様と出会い、人を大切にすることを通して神様を大切にします。ですから、最も重要な掟が1つか2つかということは、もはや重要なことではありません。

「闇は深まり、朝は近づく」。この言葉は、苦難の中にある人を励ますものですが、同時にまた過度な忍耐を強要したり、安易に目の前に見える「偽の安心」に飛びつかせてしまったりする心配もあります。「コロナはただの風邪だ」「ワクチンが出来れば大丈夫だ」というのも、そうではないでしょうか。私たちはいつ何が起こるかを知ること出来ません。だからこそ、「いつも目を覚ましていなさい」と言われています。「やがて来るいつか」ではなく、今がその時です。隣の人を大切にするのは今日からだよ、と聖書は言っています。そのことは子どもにもお年寄りにも誰にでもできるはずのことです。しかし、現実にはその簡単な事が出来ていない自分自身がいます。イエス・キリストを身に着けた、イエス様と一体になった者として、隣の人を大切に生きる生き方へと、導かれて行きたいと願います。

今年のクリスマスは、いつものような明るく楽しいクリスマスではないかもしれません。それこそ身近な人たちが病気にかかって、重症化しないとも限りません。そのように考えると、多くの不安や心配があります。しかし、思い返してみると、約2000年前の最初のクリスマスも、不安と暗闇の中に灯った小さな出来事でした。この世界を創られた目に見えない神様が、目に見える姿となった生まれたクリスマス。それは旅の途中の難民の、正式な結婚を経ない妊娠で、周囲から歓迎されない出産による誕生でした。そのような小さく低くされた所に神の子は生まれました。そのことは、今日の私たちにどんな意味を持っているのでしょうか。今日から始まるアドベント（待降節）の間、私たちは改めてそのことに向き合っていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (11月29日)

礼拝出席 大人4名 献金 大人5,000円 感謝

◎ 次週 2020年12月13日(日) ^{アドベント} 待降節 第3主日礼拝

招きの詞 イザヤ書 7章 14節

聖書 マタイによる福音書 1章 18-23節

メッセージ「奇跡の子」牛田匡牧師

賛美歌 242番 (©JASRAC) 190番 (©JASRAC) 231番 (©教団讃美歌改訂委)

待降節に入り毎週アドベント・クランツのろうそくに、一本ずつ火が灯されていきます。礼拝はインターネットで中継いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大阪府でも重症患者の病床使用率が増加し、「医療非常事態宣言」が3日に出されました。教会堂に皆が集まる形での礼拝は休止する場合があります。詳しくは「教会を考える会」で検討した後に、教会掲示板、ホームページ、Facebook、LINE公式アカウント等で連絡いたします。



◎ お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会では、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードして頂くことができます。またご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。
- ・「クリスマス献金」を12月20日まで集めています。献金先は、昨年度から引き続き「関西学院大学神学部」「日本基督教団開拓伝道支援」「日本基督教団在日韓国朝鮮人問題活動センター」「日本基督教団部落解放センター」「一般社団法人・神戸国際支援機構」「ペシャワール会」「釜ヶ崎いこい食堂(おにぎり基金)」の予定ですが、教会を考える会にて決定いたします。
- ・本日の礼拝後に予定していました12月期の「教会を考える会」は、コロナの感染状況から、皆が一堂に会するのではなく、書面にて稟議とすることになりました。主な議案は、教勢報告、会計報告、今後の礼拝・行事予定、クリスマス献金、クリスマスカード(久宝寺地域へ)の配付、慶弔規定の改定などについてです。
- ・12月1日(火)枚方市にある愛和保育園新園舎の竣工式が無事に行われ、一昨日から引っ越しが行われています。12日(土)は午前中に久宝まぶねこども園にて4・5歳児クリスマス礼拝が行われ、午後旭丘まぶね保育園にて5歳児クリスマス礼拝が行われる予定です。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
12/13	インターネット配信のみ?	牛田牧師	(第二好意の庭・クリスマス会)
12/20	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	クリスマス礼拝・聖餐式
12/27		牛田牧師	誕生者祝福式
1/3		牛田牧師	新年礼拝・聖餐式・教会を考える会

ここに教会があります
~ Merry Christmas! ~

クリスマスに生まれたイエス・キリストの光が、世界の暗い所や、寂しい所に届きますように。

【クリスマス礼拝 on Webのご案内】
2020年12月20日(日) 10:30~11:30
ウェブサイトにて無料中継配信(申込・登録不要)

創立61周年を迎え、「久宝まぶねこども園」に隣接して建った新しい会堂で、初めて迎えるクリスマスです。どなたでもご視聴頂けます。どこからでも、ご一緒にお祝いしましょう。 ホームページ

日本キリスト教団 久宝教会
八尾市久宝寺 6-7-10
電話 (072) 992-2131
(久宝まぶねこども園・南側)
すべての命を愛される神様からの祝福が豊かにありますように